

○保育士B専門試験問題例

問1 保育所保育指針第2章保育の内容に関する次のA～Eの記述について、( 1 ) ～ ( 10 ) にあてはまる語句を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。

- A 子どもの心身の発達及び( 1 )の実態などの( 2 )を踏まえるとともに、一人一人の子どもの気持ちを受け止め、援助すること。
- B 子どもの健康は、( 3 )・身体的な育ちとともに、( 4 )や社会性、( 5 )の育ちとがあいまってもたらされることに留意すること。
- C 子どもが自ら周囲に働きかけ、( 6 )しつつ自分の力で行う活動を( 7 )ながら、適切に援助すること。
- D 子どもの入所時の保育に当たっては、できるだけ( 8 )に対応し、子どもが( 9 )を得て、次第に保育所の生活になじんでいくようにするとともに、既に入所している子どもに不安や動揺を与えないようにすること。
- E 子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる( 10 )な意識を植え付けることがないようにすること。

【語句群】

|       |       |       |         |
|-------|-------|-------|---------|
| ア．認識  | イ．生理的 | ウ．個別的 | エ．試行錯誤  |
| オ．見守り | カ．喜び  | キ．励まし | ク．活動    |
| ケ．自主性 | コ．安定感 | サ．生活  | シ．豊かな感性 |
| ス．思想的 | セ．固定的 | ソ．個人差 |         |

問2 児童福祉関係機関の専門職に関する次のA～Eの記述について、専門職の名称を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。

A 児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等児童の福祉増進に努める者。

B 施設において、子どもの生活指導や日常的なケアにあたる者。

C 専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者。

D 虐待等の理由で入所している児童の保護者等に対し、児童相談所と連携しながら、家庭復帰、里親委託などに向けた相談支援を行い、早期の退所を促進し、親子関係の再構築を図る役割を担う者。

E 入所児童の里親委託の推進、里親のアフターケアなどの役割を担う者。

【語句群】

ア. 児童福祉司

イ. 母子支援員

ウ. 里親支援専門相談員

エ. 少年指導員

オ. 児童指導員

カ. 児童生活支援員

キ. 社会福祉士

ク. 保育士

ケ. 家庭支援専門相談員

問3 言語の機能と会話の発達に関する次の記述について、( A ) ～ ( E ) にあてはまる語句を下記の語句群から選び、番号で答えなさい。

- ・ ( A ) は、外言の音声を抑えられた状態が内言であるとした。発生過程については、まずは外に向かって話す外言が発生し、その後に、或いは同時期に内言が発生すると考えた。
- ・ ピアジェは、幼児の発話には他者に向けられた ( B ) と、他者に向けられたものではない発話があることを見出した。後者を自己に向けられた自己中心的な言葉として、自己中心言語と呼んでいる。
- ・ ピアジェは、自己中心言語は他者に働きかけたり、他者の観点に立てない幼児が、自分の活動に合わせて発する ( C ) のようなものだと考えた。
- ・ ヴィゴツキーは、外言は他者に向けられた言葉であり、( D ) のために用いられるが、内言は思考や行動を支え、調整する言葉であるとした。
- ・ ヴィゴツキーは、内言が発生する過程を、(1) ( E ) な前言語的段階、(2) 因果関係や仮言法について理解できていない段階、(3) 外的記号や外的操作を用いて思考する段階、(4) 思考が内向化する段階、と考え、第4の段階で内言が完成すると考えた。

【語句群】

|     |           |          |           |
|-----|-----------|----------|-----------|
| (A) | 1. ワトソン   | 2. ボウルビィ | 3. エリクソン  |
| (B) | 1. 利己主義言語 | 2. 利他的言語 | 3. 社会的言語  |
| (C) | 1. 言語的伴奏  | 2. ひとりごと | 3. 行動主義言語 |
| (D) | 1. 共感     | 2. 社会的適応 | 3. 意思疎通   |
| (E) | 1. 基本的    | 2. 原始的   | 3. 道徳的    |

問4 保育所保育指針第2章保育の内容に関する次の①～⑩の記述について、「1歳以上3歳未満児」の発達の特徴を踏まえ、5領域（「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」）に分類し、番号で答えなさい。

- ① 保育士等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。
- ② 保育士等の愛情豊かな受容の下で、安定感をもって生活をする。
- ③ 親しみをもって日常の挨拶に応じる。
- ④ 身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気付く。
- ⑤ 近隣の生活や季節の行事などに興味や関心をもつ。
- ⑥ 保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもって、聞いたり、話したりする。
- ⑦ 保育士等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。
- ⑧ 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。
- ⑨ 生活や遊びの中で、年長児や保育士等の真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。
- ⑩ 様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。

問5 感染症に関する次の記述内の①～⑩の語句について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」をつけなさい。

- A 感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に、病原体が含まれた小さな水滴が口から飛び、これを近くにいる人が吸い込むことで感染することを ① 飛沫感染 という。飛び散る範囲は ② 7～8 m である。
- B 空気感染対策の基本は ③ 「発症者の隔離」 と ④ 「部屋の密閉」 である。
- C 保育所では、乳幼児の生活や ⑤ 性格 の特徴、生理的特性を踏まえ、感染症に対する正しい知識や情報に基づいた ⑥ 感染症対策 を行うことが重要である。
- D 病原体を含んだ食物や水分を口にすることによって、病原体が ⑦ 血液 に達して感染が成立することを、⑧ 経口感染 という。
- E わが国の予防接種の制度には、大きく分けると、⑨ 「定期接種」 と ⑩ 「無料接種」 がある。

問6 保育所保育指針においては、「乳児保育は、愛情豊かに、応答的に行われることが特に必要」とされているが、「応答的」な関わりとは具体的にどのような関わりであるか、述べなさい。

問7 ある保育士がおもちゃの片付けをしないAちゃんに対して、「お片付けできない子は、明日、お散歩に連れて行かないよ。」と注意した。この場面における不適切と思われる部分と、その理由及びより良い関わり方を述べなさい。

問8 保育を通して、子どもに「豊かな感性」を育むことは重要なことであり、そのためには保育士も「豊かな感性」をもって子どもに関わらなければならない。あなたが考える「豊かな感性」とはどのようなことか。「豊かな感性」を養うためにあなた自身が心がけていることと併せて述べなさい。(800字程度)